

ベターリビング 収納折戸

このたびは、阿部興業の製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

⚠ 施工にあたってのご注意

- この施工説明書をよくお読みになり、正しく取り付けてください。
- 当社の定める施工要領を逸脱しない加工および取り付けに瑕疵が生じ、施工者が無償修理や損害賠償を行った場合、B L マークの証紙の貼付（又は刻印等）がされている部品については、一般財団法人ベターリビングのB L 保険制度により、保険金が支給されます。
- B L 保険制度については、一般財団法人ベターリビングのホームページ（<https://www.cbl.or.jp/>）をご覧ください。
- 商品に破損や異常がないか、付属品の不足はないかをご確認ください。
万一商品に破損や異常があった場合、また付属品の不備があった場合は、販売店または阿部興業株式会社までご連絡ください。
- 照明灯などの熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は1 m以上離して作業してください。

部品構成

【扉 梱 包】

部品名	3 尺用	6 尺用
扉本体	1	2

【別 途 金 物 部 品】

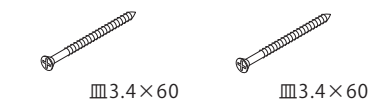
部品名	3 尺用	6 尺用
ピボット 吊元上	1	2
ピボット 吊元下	1	2
ピボット 戸先	2	4
打込パイプ	1	1
軸受け	2	4
調整スパナ	1	1
上下レール	2	2
取手（ビス付）	1	2

【枠 梱 包】

部品名	3 尺用	6 尺用
縦枠	2	2
上枠	1	1
枠組立用ビス	8	8
躯体取付ビス	2	2
カバー付ビス	8	8
レール取付ビス	6	8

※推奨ビス（ビスは同梱されていません）

枠組立用ビス 躯体取付ビス



カバー付ビス レール取付ビス



ピボット
吊元上



軸受け



ピボット
吊元下



調整スパナ



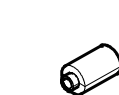
ピボット
戸先



上下レール



打込パイプ

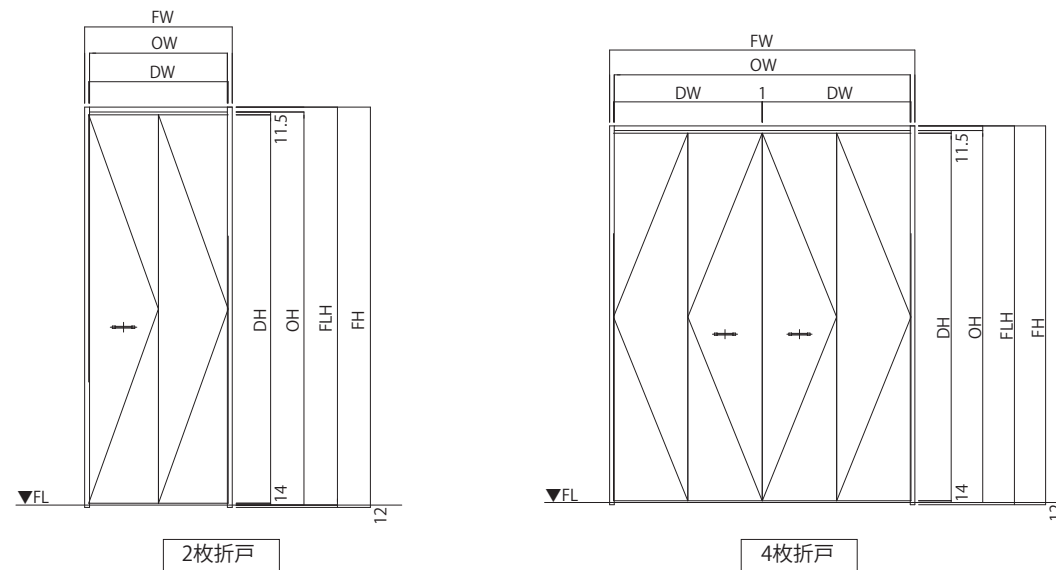


取手（ビス付）

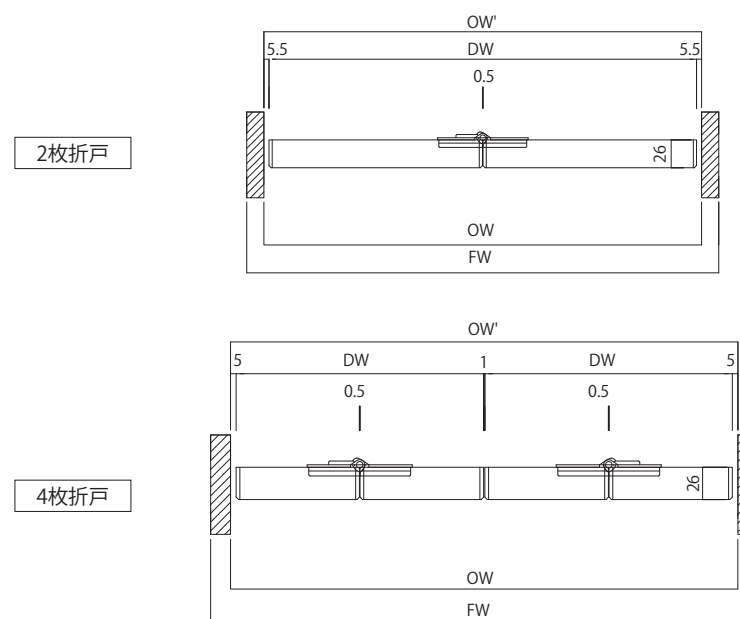


納まり図

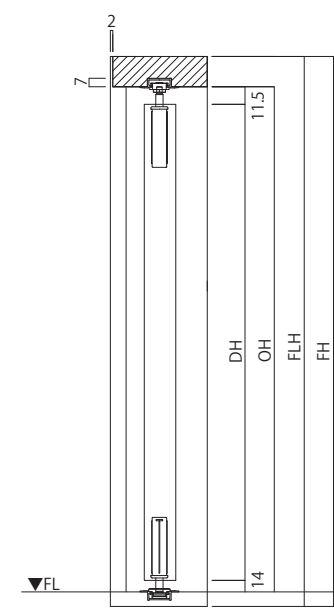
姿図



横断面図（固定枠）



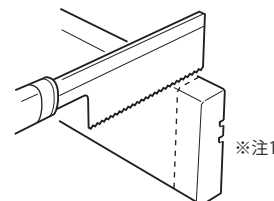
縦断面図（固定枠）



取付け順

縦枠の長さ切断について

- ①縦枠は、長めに設定してあります。
ご希望の現場施工に合わせて下端をカットしてください。

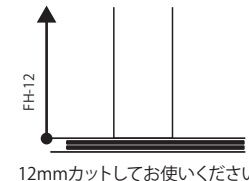


※注1

【1】12mm床埋め込みの場合

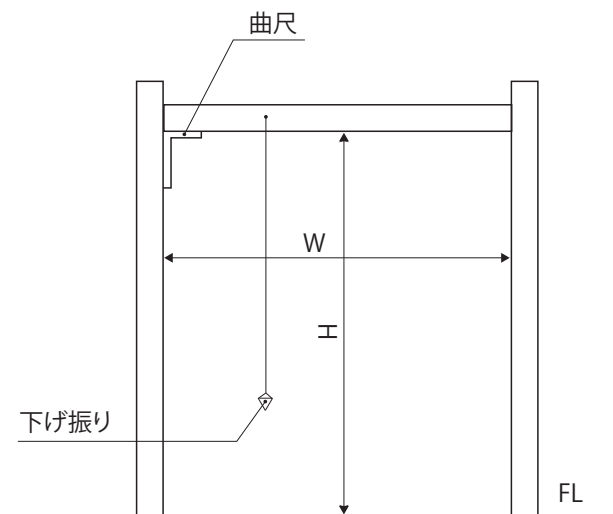


【2】フロア直置きの場合



1. 開口部の確認

- ①扉枠取付け前に、必ず柱・床・マグサの水平・垂直が出ているか確認してください。



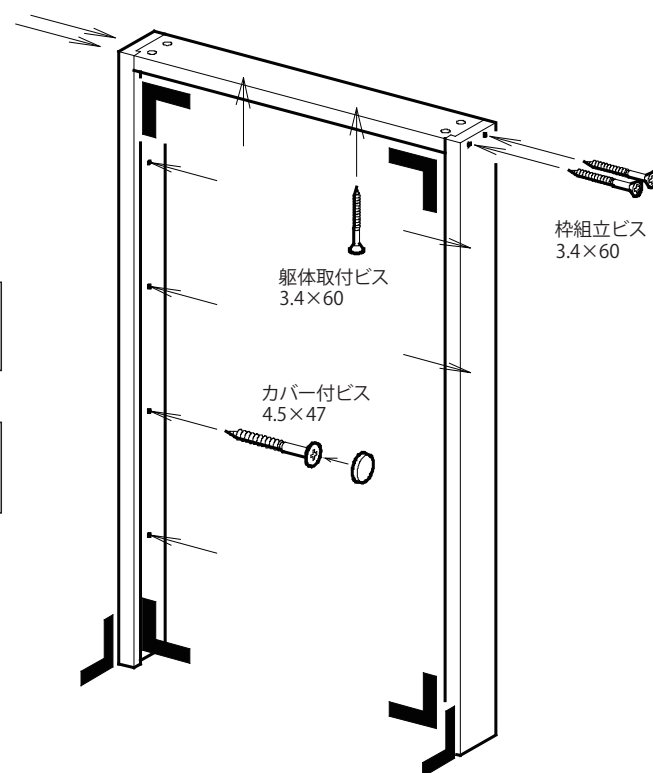
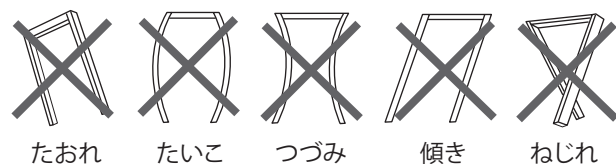
2. 枠の組立て・取付け

- ①枠をビスで組み立ててください(レールは後で取り付けてください)。
※4方枠の場合は、下側もビスで固定してください。
- ②組み立てた枠を、下地にビスで固定してください。

注意 調整ビスを締め込み過ぎますと、ビスカバーが取付けできない可能性があります。

注意 柱の垂直と、床・梁の水平を、下げ振りや水準器などでご確認の上、取り付けてください。

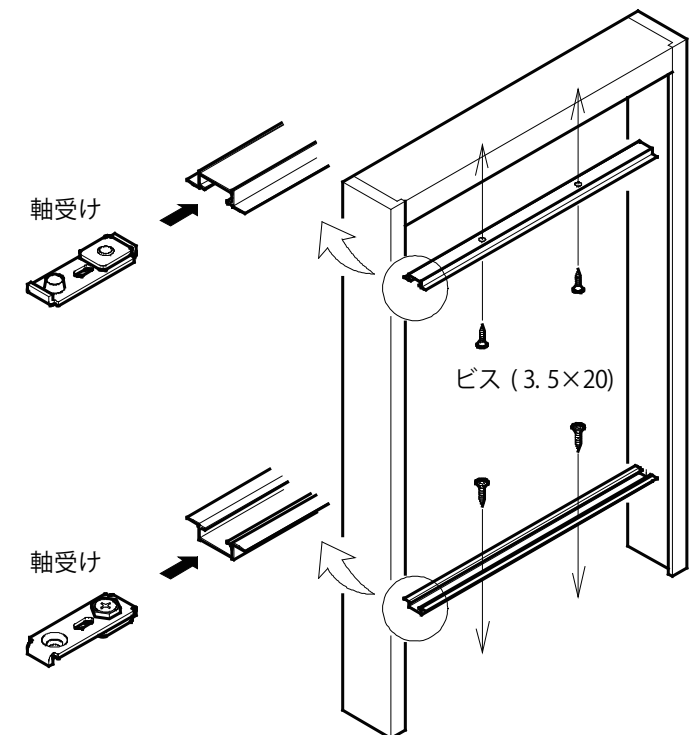
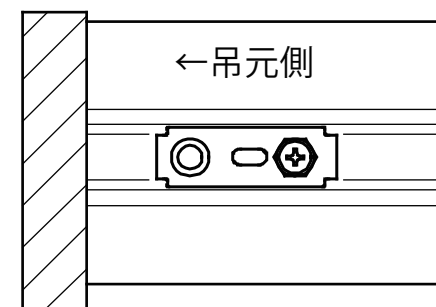
※施工後の枠が下図にならないように水平・垂直および開口寸法の確認をしてください。



3. レールの取付け

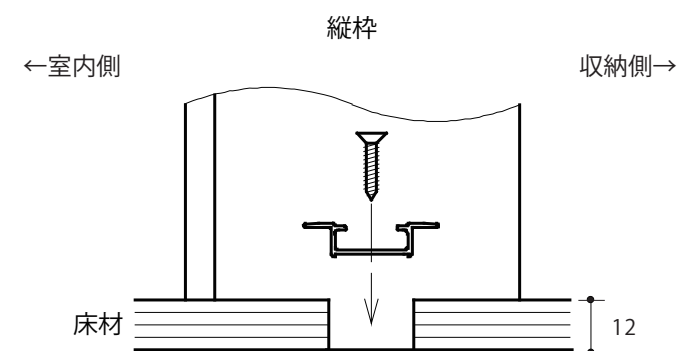
- ①上下レールに軸受けを挿入し、レールをビスで固定してください。

注意 軸受けの挿入方向にご注意ください。



《下レール取付け》

- レール(埋込み)を入れ、ビスで固定してください。

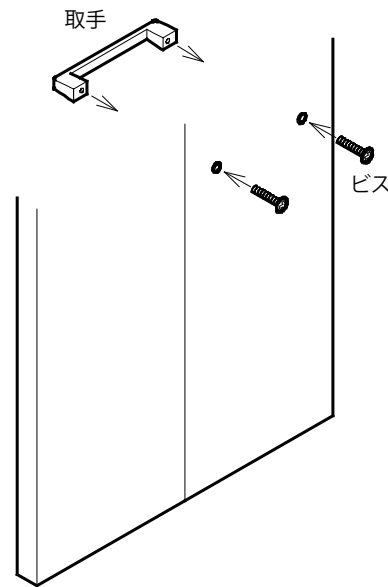
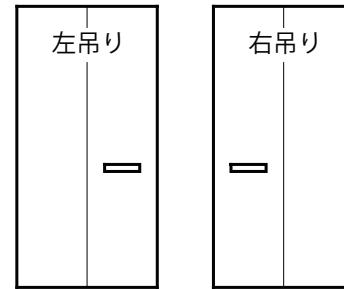


注意 レール取付用の型紙を使用して、正しい位置と向きで取り付けてください。

4. 部品の取付け

《取手の取付け》

- ①吊元側の反対の扉の裏面からビスを差し込み、取手をビスで取り付けてください。

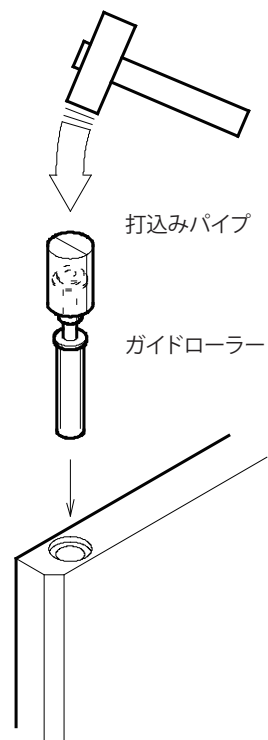


《ピボットの取付け》

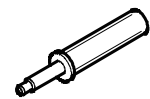
- ①ピボットを扉の上下に正しく打ち込んでください。
- ②左右勝手に取付け方が違います。下図に従って間違えないよう取り付けてください。

注意

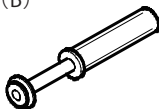
本製品はピボットの位置が左右で異なります。左右兼用ではありませんのでご注意ください。取付け方を間違えると、作動性能に影響します。



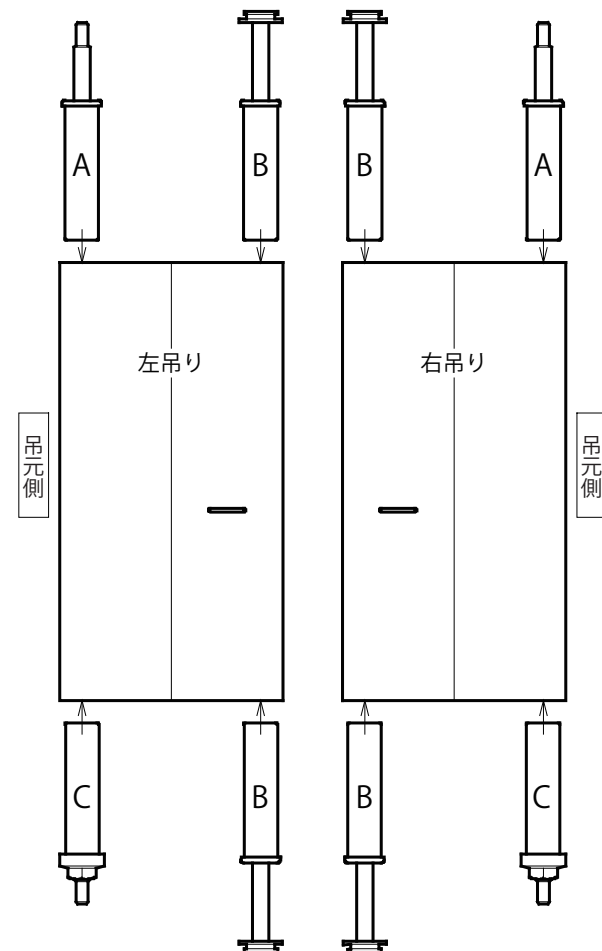
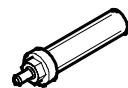
ピボット
吊元上 (A)



ピボット
戸先 (B)



ピボット
吊元下 (C)



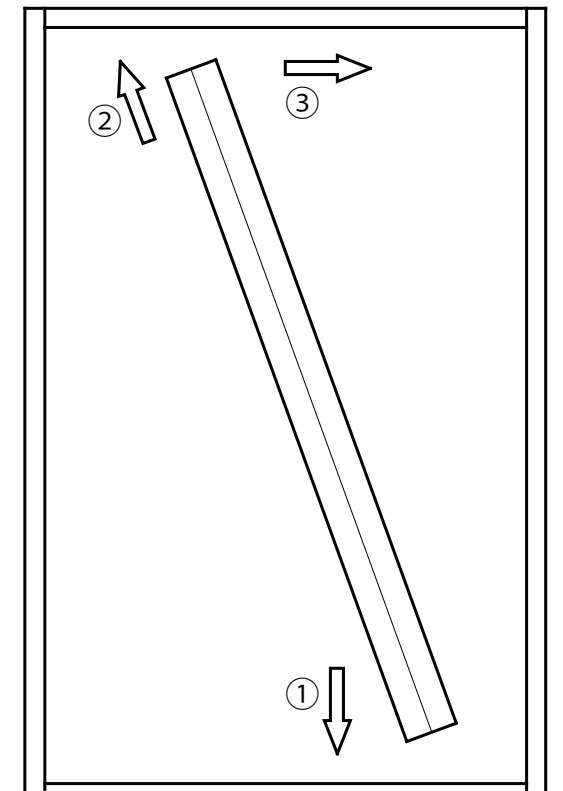
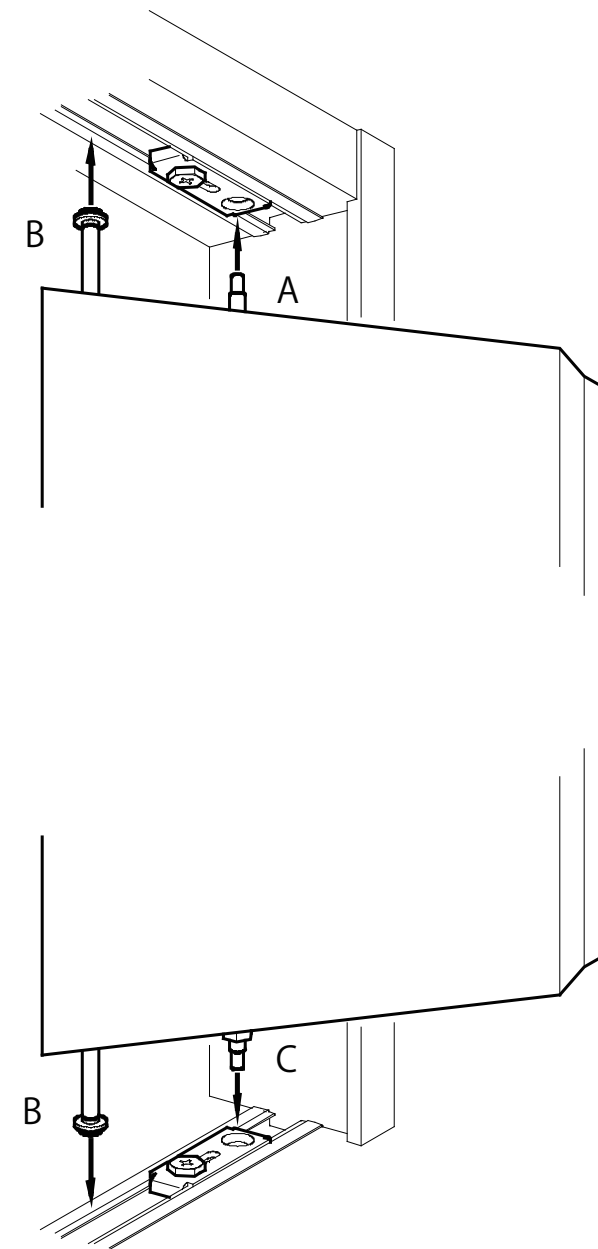
5. 扉の吊込み

《右吊の場合》

- ①ピボット吊元下を軸受け(下)に入れ、ピボット戸先下をレールに入れてください。
- ②扉を斜めに傾けて、ピボット吊元上を軸受け(上)に入れ、ピボット戸先上をレールに入れてください。
- ③扉を垂直に立てながら、軸受け(上)とともに扉を移動させ、適切な位置で軸受けの固定ナットを締めて固定してください。

注意

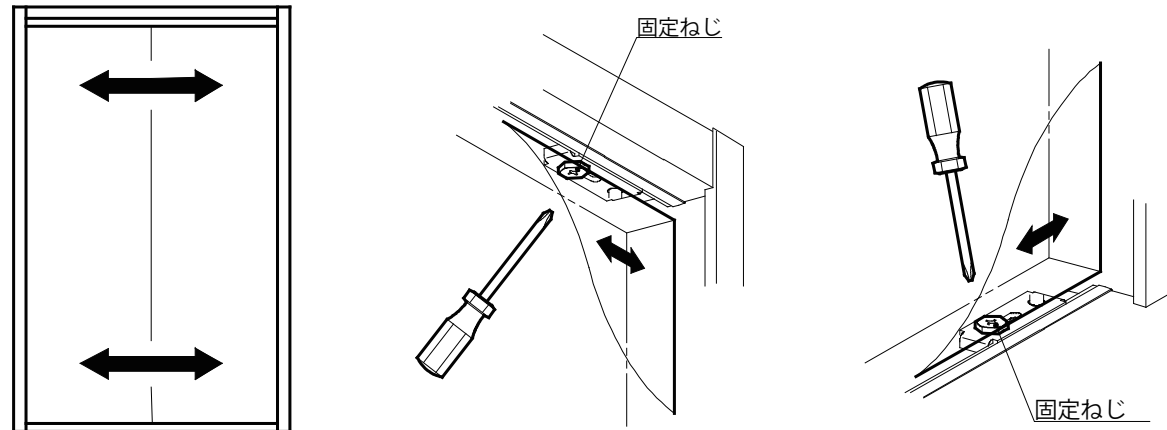
扉が倒れないように、軸受け(上)の固定ボルトはスパナを使って十分に締め付けてください。電動ドライバー等による締め付けは、軸受けの破損の原因となります。



6. 建付け調整

《左右調整》

①軸受けの固定ねじをゆるめ、軸受けごとずらして調整してください。



《上下調整》

①ピボット吊元下の上下調整ナットを、調整スパナで回して調整してください。



施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆全ての部品が取り付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
- ◆取付ネジが所定の位置に取り付けられているか確認してください。
- ◆ネジのゆるみや枠のガタつきがないか確認してください。
- ◆扉の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。

＜お手入れ方法＞

- お手入れは、柔らかい布を、水でうすめた中性洗剤に浸し、よく絞ってから汚れを落とし、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- シンナーなどの溶剤や強い洗剤を使用しないでください。
- ペンキ・グリース・油・パテなどが付着した場合は、速やかに拭き取ってください。

＜使用上のご注意＞

- 扉の近くでストーブなどのご使用はお避けください。
(扉が反ったり、表面がゆがんだりする原因になります。)
- 扉や枠の清掃には、シンナーなどの薬品を使わないでください。